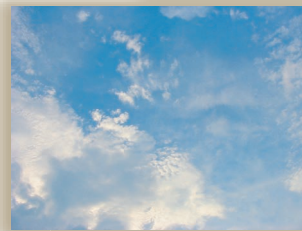


幸手市環境基本計画

行動計画

保存版



将来を担う子どもたちに伝えたい

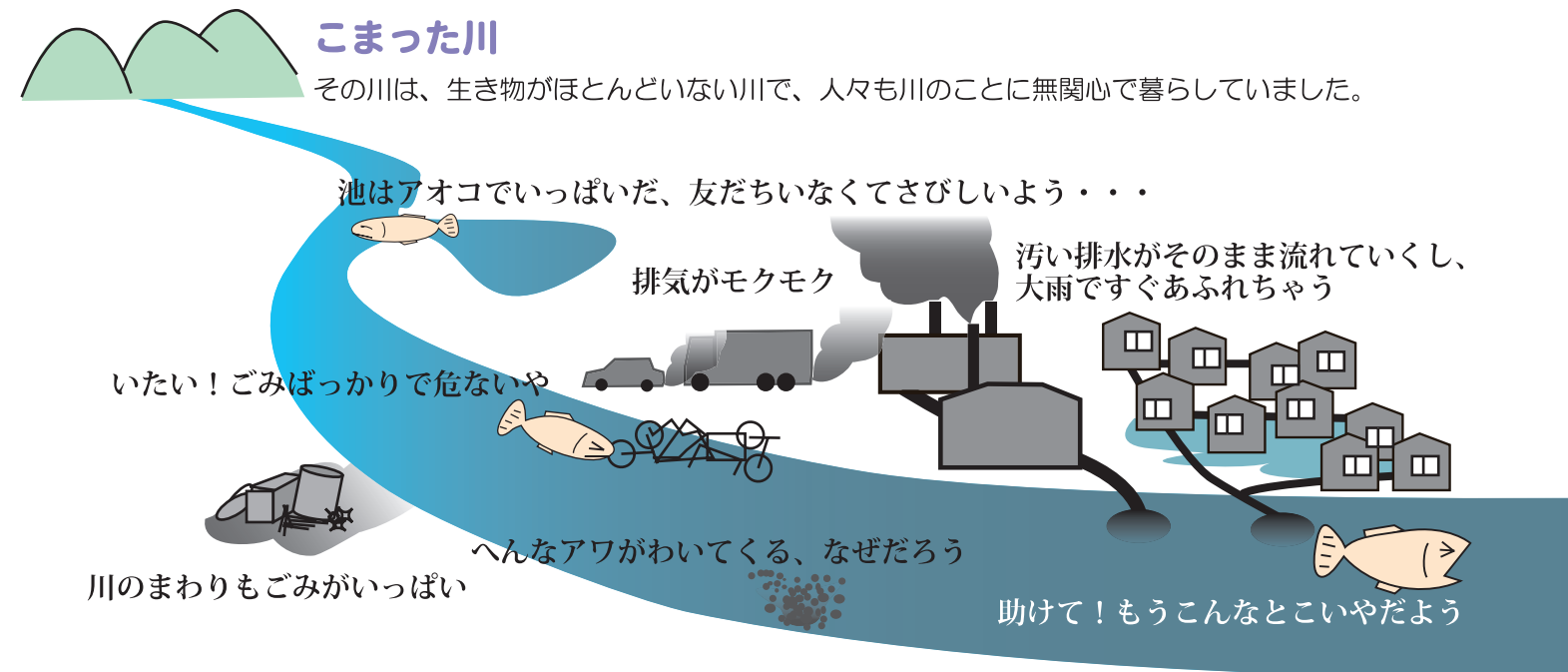


このたび、市民環境会議をはじめとした、多くの皆様のご協力により「幸手市環境基本計画」を策定いたしました。「幸手市環境基本計画」は市民・事業者・行政の協働により幸手の環境づくりを進めるための基本的な方向を示したもので、行政の取り組みだけではなく、市民のみなさんや事業者のみなさんに取組んでいただきたいこともまとめています。

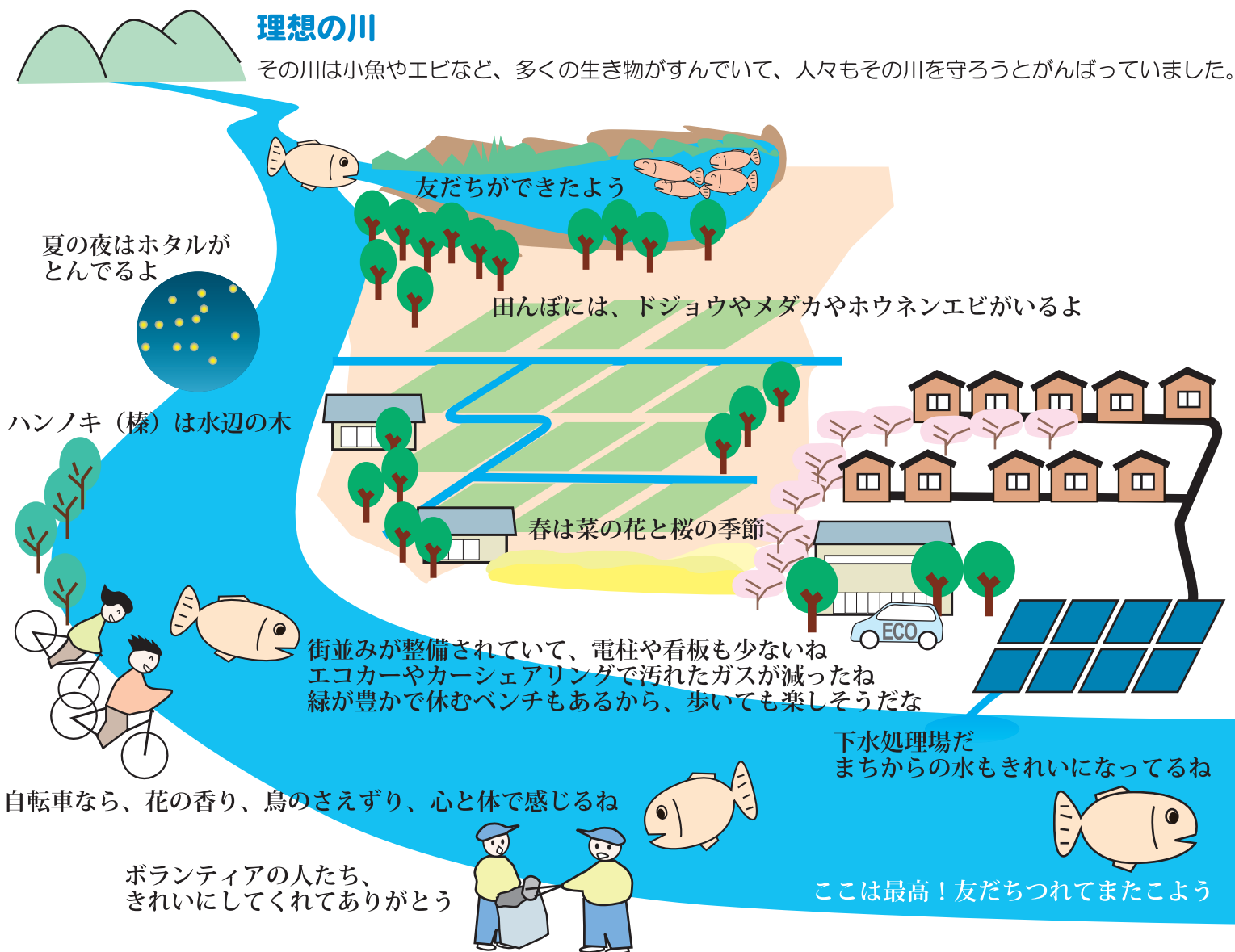
この行動計画では、計画のあらましとともに、家庭や職場などでの実践にむけたより具体的なことを示しています。生活様式から経済活動にいたるまで、あらゆる場面で、いかに将来に優良な環境を伝えていくかが大きな問題となっている今日、ひとりでも多くの方が関心を持ち、共に行動することが必要となっています。

平成17年3月 幸手市

川から環境を考えてみると・・・



実際に何をすべきか・・・このページを開いてみましょう



幸手の環境像・・・理想的な将来の姿を定めました

大地の恵みを共有し共生する営み

幸手には、河川がもたらした平野で農作を営み、大地の恵みの中で発展してきた歴史があります。そこでは現代に比べて、資源の消費・廃棄は少なく、水や大気はきれいで、多種多様な野生生物が生息していました。

この環境像は、このような歴史に学びながら、大地の恵みの中で、人も野生生物も共に健全に生きていく営みを、幸手の健全で恵み豊かな環境と、持続的に発展する社会を象徴する姿ととらえて表したものです。

郷土を愛するところを育てる美しい風景

河川沿いに広がる田園と明るく広い空が織りなす風景は、幸手の歴史が作り上げたものです。その風景が美しくあることは、土地が荒れず、水や大気はきれいで、多種多様な野生生物が生息するというような、健全で恵み豊かな環境の反映といえます。

この環境像は、幸手で生きる多くの人々がそのような美しい風景を作り、また、その風景によって郷土を愛するところが育つ様を、幸手の健全で恵み豊かな環境と、持続的に発展する社会を象徴する姿ととらえて表したものです。

幸手の歴史を振り返ってみると、ここ50年程の間に生じた生活様式・産業・土地利用などの大きな変化に気づかされます。このことから、おおよそ50年後の将来を目安として、「幸手の環境像」を定めました。これらは幸手の環境づくりの理念となるものです。

資源の環・人の和・生命の輪で実現されるしあわせのWA

幸手という地名は、そこに含まれる幸の字が「しあわせ」を意味することから、忘れがたい特別な印象を人々に与えています。

「資源の環」は自然界の物質循環や、資源の循環的利用を、「人の和」は社会や協働を、「生命の輪」は生態系や共生を表し、「しあわせのWA」にはそういった環・和・輪が人々のしあわせに結びつくという意味が込められています。

この環境像は、資源の環・人の和・生命の輪がどれも良い方向に進むことによって、人々のしあわせが実現していく様を、幸手の健全で恵み豊かな環境と、持続的に発展する社会を象徴する姿ととらえて表したものです。

基本目標・・・5つの分野とその目標を定め、その下に取り組を整理しました

【健康・安全分野】

健康な生活と健全な生態系が育まれる環境

【資源・エネルギー分野】

大量消費・大量廃棄がもたらす問題について、一人ひとりがしっかり考えて行動する循環型社会

【自然・文化分野】

歴史・自然・人への優しさを大切にし、共生する心を育てる美しいまち

【学習・交流分野】

一人ひとりが環境について学び、地域社会人（地域社会を担う人々）の和が広がる社会

【体制分野】

市民・事業者・行政の協働により、幸手の環境づくりを推し進める体制

環境家族を宣言しましょう

家族や身近な人ともいっしょに考えて、あてはまるものに印をつけてみてください。

わたくしたちは環境をよくしていくために、生活の中でこんなことを心がけていきます！

環境を汚さない

- 1 ごみやたばこをポイ捨てしません。
- 2 ペットの散歩ではフンを拾って持ち帰ります。
- 3 魚釣りでは糸・針を捨てずに持ち帰ります。
- 4 家のまわりにごみなどがないようにきれいにします。

ごみを減らす

- 5 資源ごみを分別して収集に出します。
- 6 有害ごみを分別して正しく始末します。
- 7 生ごみは水をよく切って出します。
- 8 生ごみや剪定（せんてい）ごみを家で処理したり、土にかえるようにします。
- 9 ごみが出にくい「詰め替え」「付け替え」の品物を選びます。
- 10 リサイクルしやすい素材を使ったり、分別しやすい作り方をした品物を選びます。
- 11 買物には、自分の袋を持っています。（「袋はいりません」「包まなくていいです」と伝えます。）
- 12 いらない紙の裏や再生紙を使い、紙を大切にします。
- 13 中古品をうまく利用します。

省エネルギー

- 14 自動車・オートバイで使うガソリン・軽油を節約します。
- 15 電気・ガス・灯油などエネルギーの節約に努めます。
- 16 電気器具などは省エネルギー型の製品を選んで使います。
- 17 日除け・断熱などの住まいの工夫をします。
- 18 太陽熱などの自然エネルギーを利用します。

水資源を守る

- 19 水の出しっぱなしをしないなど、こまめな節水をします。
- 20 風呂の残り湯や雨水などをうまく使う工夫をします。
- 21 台所・風呂などの、排水の汚れ（油・ごみなど）を抑える工夫をします。
- 22 正しい分量で洗剤を使います。

化学物質の害を防ぐ

- 23 体への安全性の高い食べ物や品物を選びます。
- 24 庭・畑や植木への、農薬・肥料は正しく使います。
- 25 庭・畑や植木に使う農薬・化学肥料を、なるべく減らすようにします。



R100

この冊子は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

SOY INK

環境にやさしい大豆インクを使用しています。

この計画に関するお問い合わせは、幸手市民生部
環境保全課（ひばりヶ丘桜泉園内）まで

【電話】0480-48-0331 【FAX】0480-48-2226

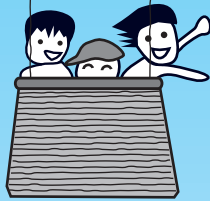
【E-mail】kankyo@city.satte.saitama.jp

10の重点目標・・・計画を進める核を定めました

気球の絵に示したのは、幸手で特に大切なことや、すぐに取り組みたいことについての10の重点目標です。これらは本計画を進める核となるもので、それぞれについて、市民・事業者・行政が協働を進める際の目安を設けています。

【重点目標】

①身近な環境の 安心・安全

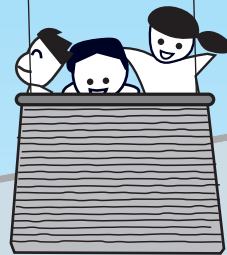


協働の目安（抜粋）

- 低公害車を使う意識を高めます
- エコドライブの意識を高めます
- 自動車に頼りすぎず、歩いたり、自転車を使う意識を高めます
- 違法な野焼き・自家焼却を無くします
- 化学物質に関する新しく正しい知識を、市民が学べるようにします
- 用排水路の水質を改善します
- 冬でも水路に水が流れるようにしますなど

【重点目標】

②有機物の環 ③不用品活用・再生 資材活用の環

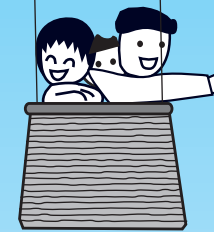


協働の目安（抜粋）

- 可燃ごみの中の生ごみを減らします
- 家庭・事業所や、農作業、剪定などから出る有機物のごみの分別・資源化・還元を行います
- 全ての家庭で、資源ごみを適切に分別し、収集に出します
- 全ての事業所で、容器・包装・事務用品などのごみの分別と、グリーン購入を行います
- 容器・包装などのリサイクル（再生）について、新しく正しい知識を、市民が学べるようにしますなど

【重点目標】

④身近な植物・動物 との共生 ⑤人に優しく、水と ふれあえるまち



協働の目安（抜粋）

- 希少種・貴重種の調査・保護を行います
- 公園緑地を今の4倍（約98ha）に増やします
- 屋敷林・社寺林・街路樹などの高木10,000本を保全・確保します
- ごみの散乱と不適正なごみ出しを無くします
- 歩道・公園・公共交通機関・公共公益施設などのバリアフリー化を行います
- 幸手駅及び周辺の整備と、地元による自主的管理を行います
- 街並みに花や木陰・日陰を増やし、街路樹約7,000本を確保します
- 公園緑地や水辺を結ぶ、歩行者・自転車のためのふれあい散策路をつくります
- 市民による公園緑地の自主的管理を行いますなど

できることから始めよう！

環境問題の解決には、制度・法律や組織の大きな取り組みも必要ですが、一人ひとりが環境を考えて行動することが不可欠です。

日本は地球上の資源を大量に使う経済大国のひとつであることから、世界の中でも極めて重要な立場にあります。地球の気候変動に関しても、国際条約の下に採択された京都議定書（1997年）に従い、2012年までに温室効果ガス（二酸化炭素等）の削減目標を達成しなくてはなりません。

ここには、特に身近な、日常的に取り組めることを表しました。市民や事業者のみなさんが、こういったことから始めて、環境を大切にする行動を広げていくことが望まれます。

とにかく燃費を減らす！

急加速、いらない荷物、長いアイドリングなどをやめましょう。

くるまの買い換えも大きな機会！

エコカー（低公害車）を選びましょう。

くるまに頼りすぎない！

近所は歩く、ちょっと先なら自転車で。からだや心にもいいですから。

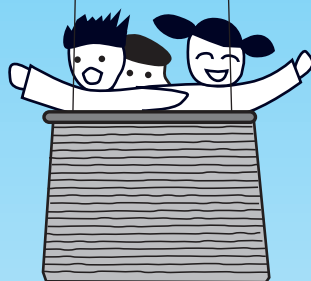
行政も取り組んでいます

- 事務室内の電気ポット利用をやめました
- 庁内ごみステーションを設置して、分別を徹底しています
- 古紙の回収、事務室内のごみ箱の削減、事務のペーパーレス化を進めています
- 夏季はノーネクタイとして、冷房温度の下限を28℃に定めています
- 公用車を低公害車に買い換えていきます
- 「地球配慮の推進に関する方針」を用いて、業務上の環境配慮を全庁で進めています

エネルギーや高齢化のことを考えると、コンパクトにまとめた機能的な街と、自動車で遠くへ出かけなくてもいい暮らしが理想です。

【重点目標】

- ⑥ 子どもの体験学習
- ⑦ 環境に取り組む市民の連帯
- ⑧ 農作物への安心と、生産者・消費者の連帯

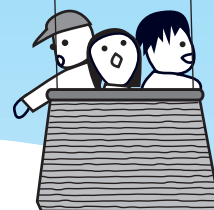


協働の目安（抜粋）

- 「こどもエコクラブ」を発展させます
- 子ども・家庭・学校にむけて、環境家族宣言などの働きかけを行います
- 子ども・家庭・学校が参加する、環境まつりなどの啓発活動・体験活動を行います
- 環境についての意見交換・議論を進める市民会議を行います
- 先導的に行動する、リーダー的市民・事業者などの支援・育成を行います
- 伝統的な祭事・行事など、地域社会の文化活動を継承します
- 地産・地消と交流・情報交換を育む、市（いち）・流通をつくります
- 都市住民の参加・協力による、農地保全活動を行います
- 市民農園の整備・運営に、農家の知識・能力が活かされるようにします
- 都市住民が一定期間農作業を体験できる施設を貸し出す制度をつくりますなど

【重点目標】

- ⑨ 市民・事業者・行政のパートナーシップ
- ⑩ 幸手市環境基本計画の進行管理



協働の目安（抜粋）

- 市民・事業者・行政の情報交換・協議・連携を進める組織をつくり、発展させます
- 市民の社会活動への支援体制を発展させます
- 事業所の環境対策や化学物質・危険物などについて情報公開を充実させます
- 本計画の進行管理を行う庁内の組織をつくります
- 本計画の進行状況を定期的に公表します
- 計画の進行状況や社会動向をはかりながら、本計画の改訂を行います
- 環境情報の共有にむけた地域環境ガイドを、更新・発展させますなど

**交流を深めよう！
いっしょにやろう！例えば・・・**

地域でゴミ問題に取り組む「ゴミニケーション」
地域で食と農に取り組む「地産・地消市場」
こどもといっしょに学ぶ「こどもエコクラブ」
消費者生活を変える「グリーンコンシューマー」
自転車の活用を進める「エコ・サイクル講習」
地図を片手に地域を巡る「幸手トレッキング」
様々な人たちが集い話す「環境サロン」
など



まずは、ごみになるものを減らす、使わない！（^{リフューズ}Refuse ^{リデュース}Reduce）

次に、できるだけ捨てない、繰り返し使う！（^{リユース}Reuse）

リサイクルは最終手段！（^{リサイクル}Recycle）

ごみを素材に戻すリサイクルには多くのエネルギーを使います。

グリーン購入にも参加しよう！

省エネ・省資源や安全性など、環境のことを考えて作られた商品やサービスを選ぶことをグリーン購入といいます。使う側から働きかけていきましょう。

自然を守るちょっとした心配りをもとう！

油やごみを排水に流さない。

殺虫剤や除草剤の利用は最低限に。

洗剤の利用も最低限、なるべくなら石鹸を。

身近な草木や動物など、自然を大切にし、おおらかな気持ちで暮らす。

小さなビオトープ（生き物のすみか）をつくって子どもと観察する。